令和 5 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　鳥取県　　総務省

－ 目次 －

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	厚生病院	3
鳥取市	市立病院	4
岩美町	国保岩美病院	5
智頭町	国保智頭病院	6
南部町	西伯病院	7
日南町	日南町国民健康保険 日南病院	8
日野病院組合	日野病院	9

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	鳥取県

市町村・組合名	
病院名	中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ未　ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	60,897 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	39	指定病院の状況	救臨が感　災地　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	504	78.4	75.0	80.6
療養	-	-	-	-
結核	10	14.3	26.5	25.0
精神	-	-	-	-
感染症	4	45.5	48.3	50.8
計	518	76.9	73.8	79.3
平均在院日数（一般病床のみ）		10.6	10.8	11.7

設立団体の状況		
人口（人）		553,407
決算規模（千円）		370,967,375
標準財政規模（千円）		218,367,059
財政力指数		0.26812
経常収支比率（%）		87.5
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.3
	将来負担比率（%）	131.4

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,826,802			
１ 経常収益	20,731,808			
（１）医業収益	18,267,776			
（うち修正医業収益）	17,980,492			
① 入院収益	12,922,069			
② 外来収益	4,745,529			
診療収入計	17,667,598			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	600,178			
（うち他会計負担金）	287,284			
（２）医業外収益	2,464,032			
（うち国・都道府県補助金）	403,827			
（うち他会計補助・負担金）	855,549			
（うち長期前受金戻入）	876,697			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	94,994			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	20,716,881			
２ 経常費用	20,692,842			
（１）医業費用	19,529,388			
① 職員給与費	8,936,015	48.9	58.7	51.4
② 材料費	5,941,782	32.5	26.9	32.6
（うち薬品費）	2,818,424	15.4	14.8	18.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	3,013,873	16.5	11.7	13.9
③ 減価償却費	2,138,418	11.7	8.5	7.4
④ 経費	2,442,980	13.4	21.5	16.9
（うち委託料）	1,409,035	7.7	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	60,904			
⑥ 資産減耗費	9,289			
（２）医業外費用	1,163,454			
（うち支払利息）	131,358	0.7	0.9	0.8
（３）特別損失	24,039			
損益 経常損益	38,966			
損益 純損益	109,921			
累積欠損金	2,478,394			
経常収支比率	100.2		96.5	97.6
医業収支比率	93.5		86.0	91.7
修正医業収支比率	92.1		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.5		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	6.3		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	5.5		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	94.7		85.4	90.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	48,336,177
１ 固定資産	33,534,948
（１）有形固定資産	29,818,180
（２）無形固定資産	16,030
（３）投資その他の資産	3,700,738
２ 流動資産	14,801,229
（１）現金及び預金	10,179,198
（２）未収金及び未収収益	4,365,147
（３）貸倒引当金（△）	3,777
（４）貯蔵品	243,091
３ 繰延資産	-
負債合計	35,521,694
１ 固定負債	28,837,378
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,814,024
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	4,951,958
（６）リース債務	71,396
２ 流動負債	5,027,368
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,262,893
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	803,306
（６）リース債務	29,803
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	1,821,558
（９）前受金及び前受収益	35
３ 繰延収益	1,656,948
（１）長期前受金	11,071,144
（２）長期前受金収益化累計額（△）	9,414,196
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	12,814,483
１ 資本金	16,630,179
２ 剰余金	-3,815,696
（１）資本剰余金	10,757
（２）利益剰余金	-3,826,453
負債・資本合計	48,336,177
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,818,213	1,142,833
資本勘定繰入	781,591	771,374
計	2,599,804	1,914,207

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	15.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	鳥取県

市町村・組合名	
病院名	厚生病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	23,734 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	21	指定病院の状況	救臨が感へ災地　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	300	73.3	71.3	74.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	304	72.3	70.4	73.8
平均在院日数（一般病床のみ）		12.4	12.1	11.7

設立団体の状況		
人口（人）		553,407
決算規模（千円）		370,967,375
標準財政規模（千円）		218,367,059
財政力指数		0.26812
経常収支比率（%）		87.5
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.3
	将来負担比率（%）	131.4

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,701,424			
１経常収益	8,693,899			
（1）医業収益	7,303,634			
（うち修正医業収益）	7,217,220			
①入院収益	4,876,704			
②外来収益	2,226,398			
診療収入計	7,103,102			
③繰延運営権対価収益	-			
④運営権者更新投資収益	-			
⑤その他医業収益	200,532			
（うち他会計負担金）	86,414			
（2）医業外収益	1,390,265			
（うち国・都道府県補助金）	498,363			
（うち他会計補助・負担金）	544,343			
（うち長期前受金戻入）	289,084			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	7,525			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	8,737,626			
２経常費用	8,727,954			
（1）医業費用	8,302,517			
①職員給与費	4,610,124	63.1	58.7	59.2
②材料費	1,798,656	24.6	26.9	26.1
（うち薬品費）	1,090,027	14.9	14.8	14.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	699,423	9.6	11.7	11.1
③減価償却費	606,469	8.3	8.5	8.5
④経費	1,269,198	17.4	21.5	21.3
（うち委託料）	840,944	11.5	11.5	11.7
⑤研究研修費	15,175			
⑥資産減耗費	2,895			
（2）医業外費用	425,437			
（うち支払利息）	72,552	1.0	0.9	1.0
（3）特別損失	9,672			
損益　経常損益	-34,055			
損益　純損益	-36,202			
累積欠損金	1,348,059			
経常収支比率	99.6		96.5	95.9
医業収支比率	88.0		86.0	86.4
修正医業収支比率	86.9		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.6		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	7.2		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	92.4		85.4	86.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	48,336,177
１固定資産	33,534,948
（1）有形固定資産	29,818,180
（2）無形固定資産	16,030
（3）投資その他の資産	3,700,738
２流動資産	14,801,229
（1）現金及び預金	10,179,198
（2）未収金及び未収収益	4,365,147
（3）貸倒引当金（△）	3,777
（4）貯蔵品	243,091
３繰延資産	-
負債合計	35,521,694
１固定負債	28,837,378
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,814,024
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	4,951,958
（6）リース債務	71,396
２流動負債	5,027,368
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,262,893
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	803,306
（6）リース債務	29,803
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	1,821,558
（9）前受金及び前受収益	35
３繰延収益	1,656,948
（1）長期前受金	11,071,144
（2）長期前受金収益化累計額（△）	9,414,196
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	12,814,483
１資本金	16,630,179
２剰余金	-3,815,696
（1）資本剰余金	10,757
（2）利益剰余金	-3,826,453
負債・資本合計	48,336,177
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,269,606	630,757
資本勘定繰入	199,869	199,869
計	1,469,475	830,626

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	15.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	鳥取県

市町村・組合名	鳥取市
病院名	市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,839 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	23	指定病院の状況	救臨へ地輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	340	69.3	68.8	71.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	340	69.3	68.8	71.6
平均在院日数（一般病床のみ）		12.8	12.9	12.7

設立団体の状況

人口 (人)		188,465
決算規模 (千円)		111,334,065
標準財政規模 (千円)		51,691,943
財政力指数		0.50
経常収支比率 (%)		88.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	8.8
	将来負担比率 (%)	65.0

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,916,993			
１ 経常収益	7,893,459			
（１）医業収益	6,918,388			
（うち修正医業収益）	6,671,712			
① 入院収益	4,714,586			
② 外来収益	1,623,810			
診療収入計	6,338,396			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	579,992			
（うち他会計負担金）	246,676			
（２）医業外収益	975,071			
（うち国・都道府県補助金）	233,890			
（うち他会計補助・負担金）	481,943			
（うち長期前受金戻入）	160,292			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	23,534			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	8,303,292			
２ 経常費用	8,303,292			
（１）医業費用	7,907,806			
① 職員給与費	4,486,435	64.8	58.7	59.2
② 材料費	1,614,924	23.3	26.9	26.1
（うち薬品費）	824,155	11.9	14.8	14.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	744,213	10.8	11.7	11.1
③ 減価償却費	527,940	7.6	8.5	8.5
④ 経費	1,145,602	16.6	21.5	21.3
（うち委託料）	696,412	10.1	11.5	11.7
⑤ 研究研修費	122,226			
⑥ 資産減耗費	10,679			
（２）医業外費用	395,486			
（うち支払利息）	40,942	0.6	0.9	1.0
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-409,833			
損益 純損益	-386,299			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.1		96.5	95.9
医業収支比率	87.5		86.0	86.4
修正医業収支比率	84.4		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	9.2		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	86.3		85.4	86.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)

区分	決算額
資産合計	11,639,684
１ 固定資産	7,154,852
（１）有形固定資産	7,094,034
（２）無形固定資産	8,345
（３）投資その他の資産	52,473
２ 流動資産	4,484,832
（１）現金及び預金	2,733,417
（２）未収金及び未収収益	1,250,986
（３）貸倒引当金（△）	3,033
（４）貯蔵品	93,516
３ 繰延資産	-
負債合計	5,709,458
１ 固定負債	3,480,900
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	825,227
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	2,655,673
（６）リース債務	-
２ 流動負債	1,779,015
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	632,320
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	337,837
（６）リース債務	986
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	771,525
（９）前受金及び前受収益	2,367
３ 繰延収益	449,543
（１）長期前受金	2,171,245
（２）長期前受金収益化累計額（△）	1,721,702
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	5,930,226
１ 資本金	5,492,117
２ 剰余金	438,109
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	438,109
負債・資本合計	11,639,684
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	684,128	728,619
資本勘定繰入	623,498	628,580
計	1,307,626	1,357,199

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	鳥取県
市町村・組合名	岩美町
病院名	国保岩美病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	11,582 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	17	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	60	61.4	51.5	56.7
療養	50	69.3	67.4	86.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	65.0	58.8	70.3
平均在院日数（一般病床のみ）		17.8	22.3	19.1

設立団体の状況		
人口 (人)		10,799
決算規模 (千円)		7,613,895
標準財政規模 (千円)		4,632,519
財政力指数		0.26
経常収支比率 (%)		88.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	9.0
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,915,221			
１ 経常収益	1,913,188			
（１）医業収益	1,561,207			
（うち修正医業収益）	1,519,749			
① 入院収益	668,516			
② 外来収益	764,489			
診療収入計	1,433,005			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	128,202			
（うち他会計負担金）	41,458			
（２）医業外収益	351,981			
（うち国・都道府県補助金）	18,907			
（うち他会計補助・負担金）	300,079			
（うち長期前受金戻入）	26,552			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	2,033			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,083,282			
２ 経常費用	2,079,543			
（１）医業費用	1,965,215			
① 職員給与費	1,050,316	67.3	58.7	67.7
② 材料費	367,879	23.6	26.9	18.3
（うち薬品費）	274,235	17.6	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	91,438	5.9	11.7	9.1
③ 減価償却費	170,180	10.9	8.5	10.3
④ 経費	373,573	23.9	21.5	29.4
（うち委託料）	223,669	14.3	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	2,834			
⑥ 資産減耗費	433			
（２）医業外費用	114,328			
（うち支払利息）	42,742	2.7	0.9	1.1
（３）特別損失	3,739			
損益 経常損益	-166,355			
損益 純損益	-168,061			
累積欠損金	1,340,543			
経常収支比率	92.0		96.5	95.4
医業収支比率	79.4		86.0	79.1
修正医業収支比率	77.3		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	17.9		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	21.9		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	17.8		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	75.6		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	4,422,084
１ 固定資産	3,254,058
（１）有形固定資産	3,233,108
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	20,950
２ 流動資産	1,168,026
（１）現金及び預金	916,036
（２）未収金及び未収収益	216,701
（３）貸倒引当金（△）	150
（４）貯蔵品	35,439
３ 繰延資産	-
負債合計	2,656,826
１ 固定負債	2,019,825
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,019,825
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	-
（６）リース債務	-
２ 流動負債	470,825
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	270,111
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	82,191
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	108,406
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	166,176
（１）長期前受金	475,670
（２）長期前受金収益化累計額（△）	309,494
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,765,258
１ 資本金	3,105,801
２ 剰余金	-1,340,543
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-1,340,543
負債・資本合計	4,422,084
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	287,372	341,537
資本勘定繰入	115,790	115,790
計	403,162	457,327

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	85.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	鳥取県
市町村・組合名	智頭町
病院名	国保智頭病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	12,639 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	12	指定病院の状況	救　へ
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	52	75.1	77.5	78.2
療養	47	81.6	87.3	84.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	78.2	82.2	81.1
平均在院日数（一般病床のみ）		24.0	18.6	17.4

設立団体の状況		
人口 (人)		6,427
決算規模 (千円)		6,723,315
標準財政規模 (千円)		4,063,746
財政力指数		0.19
経常収支比率 (%)		96.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	13.5
	将来負担比率 (%)	43.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,901,989			
１ 経常収益	1,901,980			
（1）医業収益	1,427,023			
（うち修正医業収益）	1,401,628			
① 入院収益	907,995			
② 外来収益	368,113			
診療収入計	1,276,108			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	150,915			
（うち他会計負担金）	25,395			
（2）医業外収益	474,957			
（うち国・都道府県補助金）	40,729			
（うち他会計補助・負担金）	315,349			
（うち長期前受金戻入）	80,769			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	9			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,944,819			
２ 経常費用	1,944,819			
（1）医業費用	1,851,190			
① 職員給与費	1,103,632	77.3	58.7	78.7
② 材料費	192,146	13.5	26.9	14.5
（うち薬品費）	51,546	3.6	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	102,455	7.2	11.7	6.1
③ 減価償却費	160,287	11.2	8.5	11.8
④ 経費	390,304	27.4	21.5	32.3
（うち委託料）	135,820	9.5	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	2,644			
⑥ 資産減耗費	2,177			
（2）医業外費用	93,629			
（うち支払利息）	41,774	2.9	0.9	1.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-42,839			
損益 純損益	-42,830			
累積欠損金	3,118,199			
経常収支比率	97.8		96.5	96.4
医業収支比率	77.1		86.0	72.4
修正医業収支比率	75.7		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.9		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	23.9		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	17.9		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	80.3		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	4,366,524
１ 固定資産	3,698,682
（1）有形固定資産	3,694,538
（2）無形固定資産	1,305
（3）投資その他の資産	2,839
２ 流動資産	667,842
（1）現金及び預金	449,674
（2）未収金及び未収収益	218,030
（3）貸倒引当金（△）	1,338
（4）貯蔵品	1,116
３ 繰延資産	-
負債合計	3,296,076
１ 固定負債	2,235,637
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,024,549
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	211,088
（6）リース債務	-
２ 流動負債	418,816
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	250,798
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	65,287
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	94,981
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	641,623
（1）長期前受金	905,206
（2）長期前受金収益化累計額（△）	263,583
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,070,448
１ 資本金	4,155,578
２ 剰余金	-3,085,130
（1）資本剰余金	33,069
（2）利益剰余金	-3,118,199
負債・資本合計	4,366,524
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	340,744	340,744
資本勘定繰入	173,956	173,956
計	514,700	514,700

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	218.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名
鳥取県

市町村・組合名	南部町
病院名	西伯病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	
建物面積	15,798 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	11	指定病院の状況	救　へ　輪
許可公営企業		看護配置	１５：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	49	77.1	71.8	72.0
療養	50	78.1	82.6	83.2
結核	-	-	-	-
精神	99	73.9	74.3	80.1
感染症	-	-	-	-
計	198	75.7	75.8	78.9
平均在院日数（一般病床のみ）		19.7	19.7	17.5

設立団体の状況		
人口（人）		10,323
決算規模（千円）		8,071,055
標準財政規模（千円）		4,594,724
財政力指数		0.25
経常収支比率（%）		88.7
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.0
	将来負担比率（%）	12.2

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,333,170			
１経常収益	2,333,170			
（1）医業収益	1,742,255			
（うち修正医業収益）	1,709,238			
①入院収益	1,160,661			
②外来収益	432,996			
診療収入計	1,593,657			
③繰延運営権対価収益	-			
④運営権者更新投資収益	-			
⑤その他医業収益	148,598			
（うち他会計負担金）	33,017			
（2）医業外収益	590,915			
（うち国・都道府県補助金）	41,766			
（うち他会計補助・負担金）	486,085			
（うち長期前受金戻入）	49,550			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,402,170			
２経常費用	2,399,782			
（1）医業費用	2,292,899			
①職員給与費	1,474,968	84.7	58.7	104.5
②材料費	171,209	9.8	26.9	9.7
（うち薬品費）	90,937	5.2	14.8	6.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	72,719	4.2	11.7	1.6
③減価償却費	180,306	10.3	8.5	12.8
④経費	460,016	26.4	21.5	34.3
（うち委託料）	269,712	15.5	11.5	15.4
⑤研究研修費	4,348			
⑥資産減耗費	2,052			
（2）医業外費用	106,883			
（うち支払利息）	47,213	2.7	0.9	2.2
（3）特別損失	2,388			
損益　経常損益	-66,612			
損益　純損益	-69,000			
累積欠損金	1,044,654			
経常収支比率	97.2		96.5	98.6
医業収支比率	76.0		86.0	61.2
修正医業収支比率	74.5		83.2	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	22.2		11.5	34.5
他会計繰入金対医業収益比率	29.8		13.7	57.7
他会計繰入金対総収益比率	22.2		11.5	33.3
実質収益対経常費用比率	75.6		85.4	64.6

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	3,548,153
１固定資産	2,994,954
（1）有形固定資産	2,994,094
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	860
２流動資産	553,199
（1）現金及び預金	150,797
（2）未収金及び未収収益	385,223
（3）貸倒引当金（△）	3,046
（4）貯蔵品	19,895
３繰延資産	-
負債合計	3,214,259
１固定負債	2,112,596
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,089,015
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	23,581
２流動負債	663,391
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	251,975
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	109,797
（6）リース債務	5,775
（7）一時借入金	150,000
（8）未払金及び未払費用	136,157
（9）前受金及び前受収益	-
３繰延収益	438,272
（1）長期前受金	1,059,660
（2）長期前受金収益化累計額（△）	621,388
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	333,894
１資本金	1,031,493
２剰余金	-697,599
（1）資本剰余金	327,639
（2）利益剰余金	-1,025,238
負債・資本合計	3,548,153
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	492,946	519,102
資本勘定繰入	88,963	88,963
計	581,909	608,065

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	60.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名
鳥取県

市町村・組合名	日南町
病院名	日南町国民健康保険　日南病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	6,645 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救　へ　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%･日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	59	55.0	59.0	59.3
療養	40	68.0	62.3	77.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	60.2	60.3	66.6
平均在院日数（一般病床のみ）		16.1	29.0	23.8

設立団体の状況		
人口 (人)		4,196
決算規模 (千円)		6,647,719
標準財政規模 (千円)		3,692,032
財政力指数		0.16
経常収支比率 (%)		94.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	7.5
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,277,156			
１ 経常収益	1,277,156			
（1）医業収益	838,664			
（うち修正医業収益）	761,707			
① 入院収益	498,683			
② 外来収益	205,838			
診療収入計	704,521			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	134,143			
（うち他会計負担金）	76,957			
（2）医業外収益	438,492			
（うち国・都道府県補助金）	20,040			
（うち他会計補助・負担金）	377,546			
（うち長期前受金戻入）	23,181			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,243,031			
２ 経常費用	1,243,031			
（1）医業費用	1,197,982			
① 職員給与費	686,267	81.8	58.7	78.7
② 材料費	96,047	11.5	26.9	14.5
（うち薬品費）	30,621	3.7	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	65,426	7.8	11.7	6.1
③ 減価償却費	92,514	11.0	8.5	11.8
④ 経費	317,084	37.8	21.5	32.3
（うち委託料）	114,649	13.7	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	5,469			
⑥ 資産減耗費	601			
（2）医業外費用	45,049			
（うち支払利息）	4,010	0.5	0.9	1.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	34,125			
損益 純損益	34,125			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.7		96.5	96.4
医業収支比率	70.0		86.0	72.4
修正医業収支比率	63.6		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.6		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	54.2		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	35.6		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	66.2		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	2,668,619
１ 固定資産	1,390,504
（1）有形固定資産	841,478
（2）無形固定資産	652
（3）投資その他の資産	548,374
２ 流動資産	1,278,115
（1）現金及び預金	1,134,322
（2）未収金及び未収収益	141,420
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	2,373
３ 繰延資産	-
負債合計	754,582
１ 固定負債	466,195
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	466,195
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
２ 流動負債	180,997
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	89,267
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	53,027
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	38,004
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	107,390
（1）長期前受金	319,893
（2）長期前受金収益化累計額（△）	212,503
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,914,037
１ 資本金	843,075
２ 剰余金	1,070,962
（1）資本剰余金	25,444
（2）利益剰余金	1,045,518
負債・資本合計	2,668,619
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	462,278	454,503
資本勘定繰入	50,571	-
計	512,849	454,503

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名
鳥取県

市町村・組合名	日野病院組合
病院名	日野病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	8,247 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	21	指定病院の状況	救　へ　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%･日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	99	78.4	79.4	84.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	78.4	79.4	84.1
平均在院日数（一般病床のみ）		26.6	33.5	31.5

設立団体の状況		
人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,045,261			
１ 経常収益	2,045,261			
（1）医業収益	1,576,180			
（うち修正医業収益）	1,475,602			
① 入院収益	946,079			
② 外来収益	465,257			
診療収入計	1,411,336			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	164,844			
（うち他会計負担金）	100,578			
（2）医業外収益	469,081			
（うち国・都道府県補助金）	9,330			
（うち他会計補助・負担金）	334,360			
（うち長期前受金戻入）	91,638			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,971,761			
２ 経常費用	1,971,761			
（1）医業費用	1,893,978			
① 職員給与費	975,885	61.9	58.7	78.7
② 材料費	269,954	17.1	26.9	14.5
（うち薬品費）	139,376	8.8	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	130,393	8.3	11.7	6.1
③ 減価償却費	197,126	12.5	8.5	11.8
④ 経費	443,088	28.1	21.5	32.3
（うち委託料）	310,072	19.7	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	5,900			
⑥ 資産減耗費	2,025			
（2）医業外費用	77,783			
（うち支払利息）	14,513	0.9	0.9	1.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	73,500			
損益 純損益	73,500			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.7		96.5	96.4
医業収支比率	83.2		86.0	72.4
修正医業収支比率	77.9		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.3		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	27.6		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	21.3		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	81.7		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	3,459,886
１ 固定資産	1,968,612
（1）有形固定資産	1,968,612
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	1,491,274
（1）現金及び預金	1,135,379
（2）未収金及び未収収益	325,022
（3）貸倒引当金（△）	595
（4）貯蔵品	13,801
３ 繰延資産	-
負債合計	1,992,107
１ 固定負債	1,019,797
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	668,043
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	351,754
（6）リース債務	-
２ 流動負債	400,545
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	160,520
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	68,386
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	165,147
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	571,765
（1）長期前受金	1,207,727
（2）長期前受金収益化累計額（△）	635,962
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,467,779
１ 資本金	454,219
２ 剰余金	1,013,560
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	1,013,560
負債・資本合計	3,459,886
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	564,668	434,938
資本勘定繰入	117,482	-
計	682,150	434,938

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。